

ドゥマンジュ 恭子



きょうこ



ドゥマンジュ恭子 わくわく会議レポート
No.1 2020年3月25日
■発行 ドゥマンジュ恭子とわくわく会議/調布・生活者ネットワーク/狛江・生活者ネットワーク
■発行責任者 八木昭子
〒182-0022 東京都調布市国領町 8-1-13
TEL・FAX 042-487-3087
E-mail waku2seikatasha@mpd.biglobe.ne.jp
URL <https://doumenge.seikatsusha.me/>

<https://doumenge.seikatsusha.me/>



東京・生活者ネットワークは
7月5日におこなわれる
東京都議会議員補欠選挙[調布市・狛江市]にむけて
ドゥマンジュ恭子(新人)の擁立を決定しました

女性の声は新しく強い力 ジェンダー主流化で東京を暮らし中心にシフト



生活者ネットスタディツアーで、ウィメンズセンター大阪を視察するドゥマンジュ恭子

東京は首都であり世界都市であると同時に、1400万都民が居住する暮らしのまちでもあります。そこには子どもから高齢者まで、女性・男性、障がいのある人、外国人…とさまざまな人たちの生活があります。多様な人々が混じりあい、異文化が溶け込むことで活力ある都市が生まれます。

多様な声の反映は まず女性参画から

巨大化した東京都政が、多様な人たちのニーズをすくい上げきめ細かな施策を提供できているか——それをチェックし、都の役割を拡充し、新たな政策を提案するのが都議会の役割です。だからこそ、議会には多様な意見があることが大事。まずは女性割合が人口比にそった50%となることが望まれます。

多様化し複雑化した現代社会では、経済だけでなく回って行けば、それで万事うまくいくわけではあ

りません。子どもの育ちや介護・医療、食の安全、ごみの減量やリサイクル、福祉の問題と多岐にわたる生活課題を解決するには女性の視点が欠かせません。

経済的には先進国であるはずの日本で、セクシュアル・ハラスメントやDV（ドメスティック・バイオレンス＝親密な男女間の暴力）や性暴力被害者が声を上げにくく、ジェンダー・ギャップ指数（男女格差指標）が世界153カ国中121位なのは、議会など意思決定の場に女性が少ないことが大きく関係しています。

別の目線を加えることで 社会は変わる

今日なお、痛ましい子どもの虐待事件が続いています。事件にいたる背景にDVがあることは、被害者支援の現場ではかねてから言われてきたことでした。児童相談所など子ども部門とDV被害者保護の女性担当部門の行政連携がうまく取れていれば、防ぐことができた事件もあるのです。

これまでと違う目線が政策決定の場に入ることによって新しい発想が生まれてきます。市民の参加で都政を変える！とりわけ女性の声は政治の分野では「新しい風」。女性の持っている力は社会にとっても大きく力強いものです。いっしょに東京を一人ひとりが大事にされる、誰もが住みやすい暮らしのまちに変えていきましょう！

ドゥマンジュ恭子 profile

■1957函館市生まれ ■北海道立函館西高校卒業 ■93～95狛江市公民館講座「女の暮らしと教育」から自主グループを立ち上げ、活動 ■95調布市に転居。食の安全、環境保全を求めて生活クラブ生協で活動 ■97「ワークス・コレクティブ クイーンズ」に参加、安全で信頼の食を提供。後に理事 ■99～2004小・中学校PTA役員 ■07～15調布市議会議員2期。総務委員会、調布飛行場等対策特別委員会など ■07～15東京・生活者ネットワーク子ども部会(09～12部会長) ■16～東京・生活者ネット政策委員 ■子育てネットkonokono、野川流域連絡会、若者の再出発を支えるネットなどで活動
●整体師、健康管理士
●家族：夫(フランス人)、娘、息子 調布市在住

ドゥマンジュ恭子さんを応援します

杉田 敦

法政大学教授



都政に新しい風を。長引く不況に加えてパンデミックの蔓延などにより、都民は苦しい生活を強いられています。こうした中で、生活に根ざし、生活の中に政治の課題を見つけて生活者ネットの力が求められています。

中川李枝子

児童文学作家

福嶋浩彦

中央学院大学教授・元我孫子市長

三木由希子

NPO法人情報公開クリアリングハウス

天笠啓祐

ジャーナリスト

佐藤かおり

女性と人権全国ネットワーク共同代表

堀 利和

視覚障害者・元参議院議員

山内れい子

東京・生活者ネットワーク都議会議員

安部たかね

元調布市議会議員

八木あきこ

元調布市議会議員

佐々木貴子

元狛江市議会議員

池座俊子

元狛江市議会議員

二宮ようこ

元調布市議会議員

山本あき子

元狛江市議会議員

木下やすこ

調布市議会議員

まつざき淑子

元狛江市議会議員



●東京・生活者ネットワーク ドゥマンジュ恭子の活動を紹介します。

●7月5日は東京都議会議員補欠選挙の投票日です(期日前投票は6月27日～7月4日)。



ドゥマンジュ 恭子

きょうこ

子どもにやさしいまち・東京へ 子どもの権利条例をつくる



子どもの権利条例批准25年記念シンポジウム。国連子どもの権利委員会委員大谷美紀子さんを迎えて、都庁議会棟第一会議室で開催。山内れい子都議が司会を務めた。2019年11月1日



都市農業を守る
学校給食は地産地消で！

●食べることは生きること——世界の流れは有機：非遺伝子組み換えへと変わりつつある中、日本では種子法廃止・種苗法の改悪と続き、ゲノム編集食品が非表示のまま流通しようとしている。私たちの役割は、この状況を排除し、子どもが健やかに成長できる食の安全と、日本の農業、とりわけ東京の農業を守りぬくこと。学校給食から地産地消を進め、持続可能な農業生産と農地保全を促進！ 調布市も助成している農園体験ファームで収穫作業にあたるドゥマンジュ恭子。農家があらかじめ用意した農具、種や苗などを使い、指導を受けながら野菜栽培ができる。

2019年は国連「子どもの権利条約」採択30年、日本が批准して25年の節目の年でした。しかし、国内では虐待事件や体罰、いじめ自殺、貧困など

子どもを巡る問題、困難は後を絶たず、子どもの死亡事由の検証を予防につなげる制度さえ確立されていません。

生活者ネットワークがこれまでも求め続けてきた、子どもの育ちを応援する「(仮)東京都子どもの権利条例」は、ユニセフが提唱し、国際的潮流となっている「子どもにやさしいまち」の実現に必要な法的枠組みに相当するものです。子ども参加・意見表明、子どもアドボカシー、子どもの活動を保障する居場所や機会などの要請に加え、なにより子どもは守られるだけの存在ではなく自らが権利の主体であることを社会全体で共有し、子どもにやさしい

まちづくりを始める約束を記すものです。

2025年問題を待つまでもなく、すでに東京で、超高齢少子化・人口減少が始まっています。地方自治体の明日は、子ども・若者たちの育ちゆく力にかかっています。「子どもが真ん中！」のまち・東京へ——ドゥマンジュ恭子は、子ども・若者施策の推進を、広域行政を担う東京都政の政策課題に据え直し、その実現と充実をめざします。



ともに活動する市民グループで、教科書採択についての展示をおこなった

- **子どもの「いま」を大切に**
東京都子どもの権利条例をつくる
● 虐待をなくす！子育て支援の充実と子どもの声をきく相談体制をつくる
● 子どもが育つ場・保育所の質と量を確保する
● プレーパークに子ども食堂！子どもの居場所をどんどんふやす
● 障がいがあっても共に学び育つインクルーシブ教育へ！
- **東京からジェンダー平等を達成する**
国際都市にふさわしい多文化共生を前へ！
● 職場・地域・家庭で男女平等を実現し、誰もが輝ける東京に
● セクハラ・DV・性暴力をなくし、女性が自分らしく生きられる社会を
● LGBTQへの理解を深め当事者が暮らしやすい社会をつくる
- **災害に負けない「調布・狛江」へ**
生活基盤を強くする！災害対策は市民参加で
● 水害を想定した避難所設置や雨水対策を！
● 生活圏を活かした災害対応ができる広域連携を東京都のリードでつくる
- **食の安全を確保する**
食へることは生きること、都民の食を守る
● 学校・保育所給食への地場野菜導入で、食の安全と農業を応援する
● 遺伝子組み換え・ゲノム編集などの食品表示を徹底し、消費者の選ぶ権利を保障する
- **人権を大事にする福祉優先社会へ**
セーフティネットが機能するまちを実現する
● 在宅医療と訪問介護・看護の充実で高齢者に安心な暮らしを
● 障がいのある人の移動の権利を保障するバリアフリーのまちへ
- **環境優先！多摩のみどりを守る**
再エネ・省エネで脱原発！温暖化を防止する
- **東京に「カジノ」はいらない！**
文化芸術の力で人をつなぐTOKYOへ

ドゥマンジュ恭子の提案

東京・生活者ネットワーク
都政担当政策委員／
元調布市議会議員



前調布市議会議員の二宮ようことともに



生活者ネットワークは実現しました ●子ども食堂や誰もが集えるインクルーシブな地域の居場所づくり●福祉避難所への看護師などの人的支援●農地の買い取り予算計上●性犯罪被害者への24時間対応支援●犯罪被害者支援条例成立●人権条例(SOGL、ヘイトスピーチ)成立●子どもの虐待防止条例成立●2050年CO2実質ゼロのゼロエミッション東京戦略策定●都の会議でのペットボトル禁止●マイボトル推奨と水飲み栓設置●ブロック塀の生け垣化への補助●障がい者差別解消条例成立●液体ミルクの防災備蓄



都議会には、
もっと女性の議席が必要です

左から、生活者ネットワークの、木下やすこ調布市議会議員、ドゥマンジュ恭子都政担当政策委員、山内れい子東京都議会議員、まつざき淑子狛江市議会議員。2020年3月19日

生活者ネットワークのルール

- 1 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動は、市民のカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 2 議員は交代制（ローテーション）**
議席は市民のもの。多選を防ぎ、多様な市民、とりわけ女性の、政策決定の場への直接参加を進めます。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
みんなのカンパ（お金）とボランティア（知恵と労力）で、選挙をおこないます。

みなさまのカンパを募集しています。
ドゥマンジュ恭子とわくわく会議 三菱東京UFJ銀行 調布支店 普 1918985